

★平成 21 年度過去問

先生違うけど手に入れたので一応 up しました！！

以下の(1)～(20)の文について、それが正しいときにはマークシートの「a」を、誤っているときには「b」を、それぞれマークせよ。

- (1) 老廃血球に由来するヘモグロビンは、肝細胞で処理を受けてビリルビンとなる。
- (2) ビリルビンの体外への排出経路は、尿、胆汁、糞便のいずれもあり得る。
- (3) ビリルビンの一部は腸管から吸収されて肝臓に戻り再利用される。
- (4) 放射線には電磁波と粒子線とがあり、X線やγ線は粒子線の代表的なものである。
- (5) 放射線量のグレイ (Gy) とは、線源から出る放射線の量を表すものである。
- (6) 放射線は生体に対し、主としてそのタンパク質を損傷することで生物学的効果を生じる。
- (7) 放射線を照射され損傷した組織は、創傷の場合などと同様の肉芽組織を生じて瘢痕化する。
- (8) 先天異常を生じる染色体異常とは、ある相同染色体の数が細胞一つあたり 2 個よりも多くなっている状態を意味する。
- (9) 常染色体優性遺伝疾患では骨格や四肢の異常が多く、常染色体劣性遺伝疾患では代謝異常が多く、一般に校舎の方がより重症である。
- (10) X連鎖劣性遺伝（伴性劣性遺伝）疾患は男性のみが発症する。 X^aX^a があつた！
- (11) 正常ヒトにある 2 本の相同染色体は、両方が等価であって、その遺伝子の発現は 2 本の間で常に同等に行われる。
- (12) 先天異常は胎児の遺伝子異常によるもので、母親の疾患は先天異常の発生に関係しない。
- (13) 発生学的に、上皮組織は外・中・内胚葉のいずれからも分化しうる。
- (14) 臓器によってどの種類の上皮組織が存在するかが決まっている。
- (15) 疎性結合組織、密性結合組織は、いずれも細胞が存在しない結合組織である。
- (16) 平滑筋に横紋が観察されないのは、細胞内にアクチンとミオシンが存在しないからである。
- (17) 神経の髄鞘を形成する細胞は、中枢神経と末梢神経とでは異なる。
- (18) 動脈に狭窄がなくとも、その過度の収縮のみによって組織の虚血は起こり得る。
- (19) 空気、脂肪、細胞塊、細菌のいずれもが塞栓症の原因となりうる。
- (20) 肝臓と肺は、二重の動脈支配を受けているので、梗塞を生じる場合は出血性梗塞を取ることが多い。

心臓、脳、腎臓 → 出血性梗塞